

西国第九番 興福寺

御本尊／不空絹索観世音菩薩像 開基／藤原冬嗣

法相宗大本山 南円堂

観音様と歩く道

貫首 森谷英俊

険しくも風光明媚な処に位置する西国観音霊場は多くの方々の旅情を誘います。聖地を巡礼するだけで身も心も爽快になります。心には堅固な信仰心も芽生え、巡礼したことが人生のよすがとなります。

しかし、霊場が住む処に近ければ良いのですが、遠隔地ともなると腰をあげるのに躊躇します。現在の旅には交通手段が欠かせませんが、乗り物が苦手の方も結構おられます。既に巡礼を経験し観音様にご縁をいただいた方は、そうした方々にどう接したらよいのでしょうか。

観音様にお聞きすれば、自分に良かったことは人にもお勧めしたかどうかと言われるでしょう。観音様は私達の導師です。悪人

であろうと善人であろうと救い摂り、安心の世界に導いて下さいます。観音様に具わる善巧方便のお力です。

では方便とは何を言うのでしょうか。よく私達は「嘘も方便」と言う使い方をします。しかし、嘘は仏教では避けるべきこととされています。何故でしょうか。

もし、観音様が電車・自動車が悪手だが聖地巡礼に憧れを持つ人から相談を受けたなら様々な手立てで勧められるでしょう。「電動自転車などはどうでしょうか？何なら私と一緒に歩いて行きませんか？」と。巡拝すれば道すがら、観音様は立ち止まって待っておられます。そこは札所の各霊場です。

